

近江八幡市

日本

市

アート祭

2019年3月2日(土) → 6月2日(日)

11:00 → 17:00

会場 ボーダレス・アートミュージアムNO-MA
(滋賀県近江八幡市永原町上16(旧野間邸))

休館日/月曜日(祝日の場合は翌日)

観覧料/一般300円(250円) 高大生250円(200円)

※中学生以下無料、障害のある方と付添者1名無料

※()内は20名以上の団体料金

主催/ボーダレス・アートミュージアムNO-MA、社会福祉法人グロー(GLOW)~生きることが光になる~

後援/滋賀県、滋賀県教育委員会、近江八幡市、近江八幡市教育委員会

協力/一般社団法人近江八幡観光物産協会、社会福祉法人しみんふくし滋賀

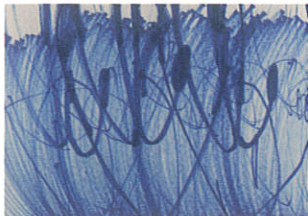
2018年10月。インドネシアで開催された展覧会、「ときどきTOKIDOKI—日本のアール・ブリュットinインドネシア」。大盛況だったこの展覧会を、インドネシアのアール・ブリュット作品と共に再構築し日本の皆さまにお披露目します。

インドネシアで展示した日本の8名の作品に加え、新たにインドネシアの3名の作品を初公開します。また、ジョグジャカルタにも拠点を置く美術家の北澤潤とのアートプロジェクト「ひとときのミュージアム」の関連空間、インドネシアでも多くの人を惹きつけたNO-MAのアートディレクターはたよしの「ボーダレス・アート」を巡る言葉も展示します。NO-MAや日本のアール・ブリュット作品を、ストーリーを持って紹介したインドネシアの展覧会の雰囲気や、日本の皆様に追体験していただき、NO-MAが目指してきたこと、大切にしてきたことを感じていただきます。

展覧会タイトル「ときどき」には、「この展覧会をきっかけに、一定の期間を置いたとしても繰り返し、インドネシアと日本の芸術文化交流が続いていくように」という意味を含めています。インドネシア展に次ぐ本展は、わたしたちがタイトルに込めた願いの、ひとつの実現のかたちと言えるでしょう。

出展者

アフマッド・ヤニ	Ahmad Yani	ドウイ・プトロ(パク・ウィ)	Dwi Putro (Pak Wi)
戸来 貴規	Herai Takanori	イマム・スチャヒョ	Imam Sucahyo
岩崎 司	Iwasaki Tsukasa	木本 博俊	Kimoto Hirotochi
木村 茜	Kimura Akane	三橋 精樹	Mitsuhashi Seiki
佐藤 朱美	Sato Akemi	山崎 健一	Yamazaki Kenichi
吉澤 健	Yoshizawa Takeshi		



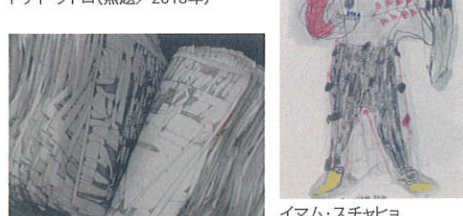
木村 茜(下駄/2011年)



アフマッド・ヤニ
(タイトル不詳/制作年不詳)



佐藤 朱美(楽園/2015年)



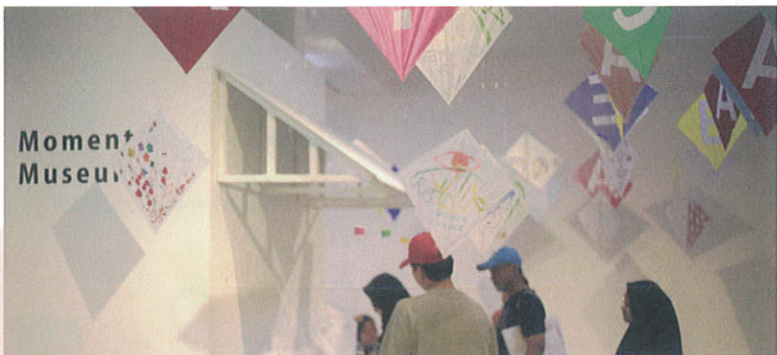
イマム・スチャヒョ
(LOVE LEAVES/2015年)



戸来 貴規(にっき/2000-2006年)

パートナーアーティスト

北澤 潤 Kitazawa Jun



《Momentary Museum - プラン展示》

ときどき TOKIDOKI 日本のアール・ブリュット in インドネシア, インドネシア国立美術館, 2018

お問い合わせ・イベントのご予約

ボーダレス・アートミュージアムNO-MA

〒523-0849 滋賀県近江八幡市永原町上16(旧野間邸)

TEL/FAX:0748-36-5018 Email: no-ma@lake.ocn.ne.jp

URL: http://www.no-ma.jp



アクセス

○電車・バス/JR琵琶湖線 近江八幡駅北口から近江鉄道バス
[長命寺線(6番のりば)]→乗車 約10分→バス停[大杉町]下車→徒歩 約8分→NO-MA

○車/名神高速道路 竜王IC→約25分→NO-MA

※駐車場に限りがありますので満車の際は市営駐車場等をご利用ください。

○トークイベント

障害のある人の家族と生活支援員が、「行為」を「作品」と捉えたとき

出展者である戸来貴規が初めて展覧会へ「にっき」を出品するまでの数々のエピソードを、失敗談も交えながら元支援者が語ります。

2019年3月23日(土) 13:30-15:00

語り手 / 田端一恵(社会福祉法人グロー 企画事業部)

ゲスト / 戸来茂(戸来貴規さん父)

会場 / 奥村家住宅(滋賀県近江八幡市永原町上8)

定員 / 30人(要予約)

参加費 / 観覧料 ※既に展覧会をご覧の方はチケットの半券をご提示ください。

ときどき、日本の中のインドネシア

技能実習生への日本語教育やガイドなど、多岐に亘り活躍している近江八幡在住のムハマッドさん。本展の中にみるインドネシアを深掘りしていただくとともに、日本の不思議や面白さ、自国との違いや共通点を楽しみお話いただけます。

2019年4月6日(土) 10:30-12:00

講師 / ムハマッド・ヌズライ

会場 / 奥村家住宅(滋賀県近江八幡市永原町上8)

定員 / 30人(要予約)

参加費 / 観覧料 ※既に展覧会をご覧の方はチケットの半券をご提示ください。

○トーク&ワークショップ

ひとときのミュージアム(Momentary Museum)

NO-MAと美術家の北澤潤とのアートプロジェクト、「ひとときのミュージアム」。晴天時は琵琶湖畔に移動し、風屋台を交流の場として風になびくペインティングを施して揚げたり、語らったりします。雨天時は、インドネシアで馴染みの雨合羽にペインティングを施し、近江八幡の街をお散歩します。

2019年4月20日(土)

トーク 13:30-13:50 ワークショップ 14:20-15:20

パートナーアーティスト/北澤潤

集合 / 奥村家住宅(滋賀県近江八幡市永原町上8)

※晴天時は前浜(〒521-1243 滋賀県東近江市栗見新田町)まで送迎バスで移動。

ワークショップ終了後は奥村家住宅に戻り解散。

定員 / 20名(要予約)

参加費 / 観覧料 ※既に展覧会をご覧の方はチケットの半券をご提示ください。

○国際交流トーク

ときどき、インドネシアとビデオ通話

インドネシアとスカイプでつなぎ、インドネシアでのときどき展に関わった人たちと語り合います。

2019年5月18日(土) 13:30-14:30

話し手 / ナワ・トゥンガル(アール・ブリュットコーディネーター)

(予定) スジッド・ダルタント(インドネシア国立美術館キュレーター)

聞き手 / 北澤潤

会場 / 奥村家住宅(滋賀県近江八幡市永原町上8)

定員 / 20人(要予約)

参加費 / 観覧料 ※既に展覧会をご覧の方はチケットの半券をご提示ください。

〈同時開催〉個々に合った作品鑑賞を考える2

昨年度初めて開催した、発達障害のある方々との作品鑑賞。今年度も当事者とともに、個々にあった作品鑑賞について考えます。

2019年3月9日(土) 13:00-15:00

話し手 / 横井悠(ボーダレス・アートミュージアムNO-MA学芸員)

会場 / ボーダレス・アートミュージアムNO-MA

定員 / 20人(要予約)

参加費 / 無料 協力/滋賀県発達障害者支援センター

